

「読書の魅力を伝える活動推進研修会（西之表市）」

～ 熊毛支部 ～

令和6年9月4日（水）、西之表市民会館において、鹿児島県立図書館主催の令和6年度「読書の魅力を伝える活動推進研修会」が開催され、熊毛管内から約90名の参加がありました。

はじめに鹿児島大学教育学部原田義則准教授に、「対話でひらく本の力」という演題で御講演いただきました。本の魅力を伝えたり、本の力を生かしたりするために、いかに「対話」が大切であるかを学ぶことができました。

次に2つの読書グループに実践事例を発表していただきました。おはなし子ども会（南種子町）では、地域の方と宇宙留学等の保護者がメンバーで、今年結成30年。多くの子供たちに本の楽しさが伝えられるよう活動しているとのことでした。また、油久小学校 PTA 読書グループ油っ久り（中種子町）は、平成29年4月に発足し、全保護者と職員による朝の読み聞かせと親子読書を中心に活動していることを発表していただきました。

最後に4つのワークショップが開かれました。斉藤真理子さん（西之表市）による豆本制作では、「参加者が失敗せずに制作できる運営のポイントを学べ、有意義な時間だった。」、西之表市立図書館によるビブリオバトルでは、「伊関小学校の児童のすばらしい発表が見れてよかった。」、あんねえお話し会（南種子町）による朗読劇では、「それぞれの個性や特技を生かして、子供たちのために活動していることがすばらしい。」、にじのいえおはなし会（屋久島町）によるミニおはなし会では、「話しの世界に入り込み、とても楽しさあふれる会でした。」などの感想をいただきワークショップは大変好評でした。

全体をとおして、「定期的に研修会を開催してほしい」、「またこのような機会があれば参加したい」などの感想をいただきました。



【講演の様子】



【事例発表①の様子】



【事例発表②の様子】



【豆本制作の様子】



【ビブリオバトルの様子】



【朗読劇の様子】



【ミニおはなし会の様子】